あんしん設定

暗証番号

FOMA端末で利用する暗証番号 126
端末暗証番号を変更する.....＜端末暗証番号変更＞ 127
PINコードを設定する .....＜FOMAカード(UIM)設定＞ 127
PINロックを解除する 128

携帯電話の操作や機能を制限する

他の人が使用できないようにする.....＜オールロック＞ 128
おまかせロックを利用する .....＜おまかせロック＞ 129
セルフモードを利用する.....＜セルフモード＞ 130
電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする
.....＜パーソナルデータロック＞ 130
いろいろなロックの設定をする.....＜ロック設定＞ 131
フェイスリーダーを利用する .....＜フェイスリーダー設定＞ 132
ダイヤルボタンを押して電話をかけられないようにする
.....＜ダイヤル発信制限＞ 135
ボタンを操作できないようにする.....＜ボタンロック＞ 135
サイドボタンを操作できないようにする....＜サイドボタン操作＞ 135

発着信や送受信を制限する

リダイヤル／着信履歴を表示できないようにする
.....＜履歴表示設定＞ 136
知られたくない電話帳やスケジュールを守る
.....＜シークレットモード＞＜シークレット専用モード＞ 136
メールBOX内のメールにシークレットを設定する
.....＜シークレットメール表示設定＞ 137
メールBOX内のメールを無断で表示できないようにする
.....＜メールセキュリティ設定＞ 137
電話帳に指定機能を設定する .....＜電話帳指定設定＞ 137
電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する
.....＜非通知着信設定＞ 139
呼出動作をすぐに開始しないようにする....＜呼出時間表示設定＞ 139
電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する
.....＜登録外着信拒否＞ 140
電話帳お預かりサービスを利用する
.....＜電話帳お預かりサービス＞ 140
各種機能の設定をリセットする.....＜設定リセット＞ 142
登録データを一括して削除する.....＜端末初期化＞ 142
遠隔操作でデータを初期化する.....＜遠隔初期化＞ 143

その他の「あんしん設定」

その他の「あんしん設定」..... 143

FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号の他ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

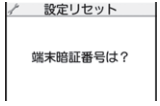
■各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップなど窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。(P.127参照)
端末暗証番号入力の画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、●(確定)を押します。

- 端末暗証番号入力時はディスプレイに「_」で表示され、数字は表示されません。
- 間違った端末暗証番号を入力した場合や、約15秒間何も入力しなかった場合は、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されたあと、端末暗証番号入力の前の画面に戻ります。正しい端末暗証番号を確認してからもう一度操作してください。



ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「各種お申込・お手続き」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、iモードからはお客様サポート内の「各種お申込・お手続き」からお客様ご自身で変更ができます。
※「My docomo」「各種お申込・お手続き」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

iモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、iモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「iモードパスワード」が必要になります。(この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります)
iモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。(P.199参照)
iモードから変更される場合は、「iMenu」→「お客様サポート」→「各種設定(確認・変更・利用)」→「iモードパスワード変更」から変更ができます。

PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。(P.128参照)
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号(コード)です。
PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2コードは、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の暗証番号です。

●新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

PIN1コード／PIN2コード入力の画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コード／PIN2コードを入力し、●(確定)を押します。

●入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。

●3回誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります。(入力可能な残りの回数は画面に表示されます)
正しいPIN1コード／PIN2コードを入力すると、入力可能な残りの回数が3回に戻ります。

PIN1コードの場合

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

●PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。

＜端末暗証番号変更＞ MENU 2 9

端末暗証番号を変更する

FOMA端末をより便利に使いこなしていただくために、お客様ご自身の各種機能用の端末暗証番号(4～8桁)に変更しておきましょう。変更した端末暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気をつけください。

1 MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶端末暗証番号変更▶現在設定されている端末暗証番号を入力

●お買い上げ時などで、初めて入力する場合は「0000」を入力します。

2 新しい端末暗証番号(4～8桁)を入力▶YES

＜FOMAカード(UIM)設定＞

PINコードを設定する

PIN1コード入力設定

FOMA端末の電源を入れたときに、PIN1コードを入力しなければ使用できないように設定します。

1 MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶FOMAカード(UIM)設定▶端末暗証番号を入力▶PIN1コード入力設定▶ON・OFF▶PIN1コードを入力

●PIN1コードについてはP.126参照。

PIN1コード変更・PIN2コード変更

PIN1コードを変更するには、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておく必要があります。

1 (MENU)▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶FOMAカード(UIM)設定▶端末暗証番号を入力▶PIN1コード変更・PIN2コード変更▶現在設定されているPIN1コード／PIN2コードを入力

- PIN1コード／PIN2コードについてはP.126参照。

2 新しいPIN1コード／PIN2コード(4～8桁)を入力

- 入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。

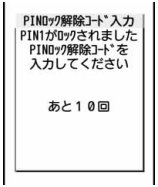
3 新しいPIN1コード／PIN2コードを再入力

PINロックを解除する

PIN1コード／PIN2コードの入力が必要な画面で、3回連続して誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります。その場合は、いったんPIN1コード／PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード／PIN2コードを設定する必要があります。

1 PINロック解除コード(8桁)を入力

- 入力した解除コードは「_」で表示されます。



2 新しいPIN1コード／PIN2コード(4～8桁)を入力

- 入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。

3 新しいPIN1コード／PIN2コードを再入力

<オールロック>

他の人が使用できないようにする

オールロックをかけると電話の応答、電源のON／OFF以外の操作ができなくなります。

1 (MENU)▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶オールロック▶端末暗証番号を入力

「 」と「オールロック」が表示され、オールロックが設定されます。

- オールロックを解除するには、待受画面で端末暗証番号を入力します。電源を切ってもオールロックは解除されません。

お知らせ

- オールロック中は電話をかけることができません。ただし、緊急通報110番／119番／118番には電話をかけることができます。確認画面で「YES」を選択すると発信できます。
- 電話の着信は可能ですが、この場合、電話帳に登録されている名前、画像などは表示されず、電話番号だけが表示されます。また、着信音はお買い上げ時の設定で鳴ります。
- オールロック中でもGPSの位置提供は可能です。
- オールロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度の電源ONは可能です。
- オールロック中は、メールやメッセージR/Fの受信は可能ですが、メール受信中またはメッセージR/F受信中、受信結果の画面は表示されません。オールロック解除後に「 」「 」「 」などのアイコンが表示されます。
- オールロック中は、「 」「 」「 」を除きデスクトップのお知らせアイコン、貼り付けアイコン、スケジュールは表示されません。オールロック解除後に再表示されます。
- オールロック中は、iチャネルのテロップは表示されません。
- オールロック中は、ウェイクアップ画面にiモーションを設定していても、お買い上げ時のウェイクアップ画面が表示されます。
- オールロックを設定しても、ICカードロックはかかりません。

<おまかせロック>

おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。また、お申し込み時におまかせロックがかからない場合で、1年以内に通信が可能になった場合、自動的にロックがかかります。ただし、回線解約・休止・改番・movaへの契約変更を行った場合は1年以内であっても自動的にロックはかかりません。
お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

※おまかせロックは有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合や、ドコモプレミアクラブ会員のお客様は無料になります。また、ケータイあんしんパックご契約の場合、ケータイあんしんパック定額料金内でご利用いただけます。

※おまかせロック中も「位置提供設定」を許可する設定にしていれば、GPS機能の位置提供要求に対応します。

■おまかせロックの設定／解除
0120-524-360　受付時間 24時間
※パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

- おまかせロックの詳細については「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

おまかせロックを起動すると

待受画面に「おまかせロック中です」と表示され、おまかせロックが設定されます。

- おまかせロック中は、音声電話／テレビ電話の着信に対する応答・応答保留、電源ON／OFF、受話音量調節、着信音量調節の操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能（ICカード機能を含む）を使用することができなくなります。
- 音声電話、テレビ電話の着信（プッシュトークは除く）はしますが、電話帳に登録されている相手の名前や画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。また、着信時の画像、着信音はお買い上げ時の状態になります。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
- おまかせロック中に受信したメールは、ｉモードセンターに保存されます。
- 電源ON／OFFは可能ですが、電源OFFを行ってもロックは解除されません。
- おまかせロック中でもGPSの位置提供は可能です。
- FOMAカードやmicroSDカードにはロックがかかりませんので、あらかじめご了承ください。

お知らせ

- 他の機能が起動中の場合でも、起動中の機能を終了してロックをかけます。
- 他のロック機能の設定中でも、おまかせロックを使用できます。ただし、おまかせロックをかける前に公共モード（ドライブモード）を設定していた場合は、音声電話、テレビ電話の着信もできなくなります。
- 圏外、セルフモード中や電源OFF中の場合はロックがかかりません。その他お客様の利用方法などにより、ロックがかからない場合があります。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックはかかりません。
- ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

<セルフモード>

セルフモードを利用する

すべての通話、通信機能が使用できないように設定します。
セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手の方には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスを利用できます。

1 (MENU)▶**設定**／**サービス**▶**ロック**／**セキュリティ**▶**セルフモード**▶**YES**▶**OK**

「self」が表示され、セルフモードが設定されます。

- セルフモードを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- セルフモード中でも緊急通報110番／119番／118番には電話をかけることができます。この場合、セルフモードは解除されます。
- セルフモード中は、メール、エリアメール、メッセージR/Fは受信できません。
- セルフモード中に電話がかかってきても、セルフモード解除後「不在着信あり」や留守番電話のメッセージがあることをお知らせするアイコンなどは表示されません。

<パーソナルデータロック>

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

個人情報を利用する機能など、以下の機能を使用できないように設定します。

- ·デスクトップ
- ·伝言メモ
- ·メモの再生／消去
- ·画像選択
- ·遠隔監視設定
- ·プッシュトーク電話帳
- ·電話帳登録
- ·グループ設定
- ·電話帳検索
- ·電話帳登録件数
- ·電話帳設定
- ·ボイスダイヤル
- ·おしゃべり機能
- ·きせかえツール
- ·マチキャラ
- ·Feel＊Mail画像の再生
- ·電話帳指定設定
- ·登録外着信拒否
- ·設定リセット
- ·端末初期化
- ·メール
- ·メールグループ
- ·チャットグループ
- ·ｉモード
- ·ブックマーク
- ·ｉチャネル
- ·ｉコンシェル
- ·フルブラウザ
- ·PC動画
- ·カメラ
- ·バーコードリーダー
- ·ワンセグ
- ·Music&Videoチャネル
- ·ミュージック
- ·ミュージックプレーヤー
- ·ｉアプリ
- ·ｉウィジェット
- ·ICカード一覧
- ·トルカ
- ·GPS機能
- ·静止画
- ·動画
- ·ビデオ
- ·キャラ電
- ·メロディ
- ·microSDカード
- ·赤外線通信
- ·iC通信
- ·ボイスレコーダー
- ·PDF対応ビューア
- ·ドキュメントビューア
- ·アラーム
- ·スケジュール
- ·ToDo
- ·アラーム通知設定
- ·自局番号表示
- ·音声メモ
- ·動画メモ
- ·テキストメモ
- ·FOMAカード(UIM)操作
- ·マルチナンバーの「電話番号登録」「着信音設定」
- ·データ転送

1 MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶パーソナルデータロック▶端末暗証番号を入力

「P」が表示され、パーソナルデータロックが設定されます。

- パーソナルデータロックを解除するには、同様の操作を行います。閉じタイマーロックを設定している場合は、FOMA端末を開いてもパーソナルデータロック解除の画面が表示されます。
  「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」に設定している場合は、P.134「フェイスリーダーでロックを解除する」の操作を行います。
  「ダブルセキュリティ」に設定している場合は、P.134の操作を行ったあとに端末暗証番号を入力します。

パーソナルデータロックを一時解除するには

パーソナルデータロック中に使用できない機能を選択すると、機能によっては、端末暗証番号入力の画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると「P」が消え、機能を一時的に使用できます。

- 他のメニュー機能が起動していない状態で待受画面を表示したときは、再度、パーソナルデータロックが設定されます。

お知らせ

- パーソナルデータロック中は、メッセージR/F、iモードメール、チャットメール、SMSの自動受信はできますが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。また、着信音の鳴動など受信動作を行わず、受信をお知らせしません。パーソナルデータロック解除後に「」「」「」などのアイコンが表示されます。
- パーソナルデータロック中は、「新着メールあり」「未通知アラームあり」「電話番号」「URL」「メールアドレス」など表示されない「お知らせアイコン」「貼り付けアイコン」がありますが、パーソナルデータロック解除後に再表示されます。
- パーソナルデータロック中は、FOMA端末を閉じた状態で▼を押して不在着信、新着メールを確認できません。
- パーソナルデータロック中にテレビ電話で代替画像を送信すると、「内蔵」の代替画像が送信されます。
- パーソナルデータロック中に「オールロック」を設定すると「P」が消え、「」が表示されます。
- 「登録外着信拒否」を設定中はパーソナルデータロックを設定できません。

<ロック設定>

いろいろなロックの設定をする

閉じタイマーロック設定

FOMA端末を閉じてから設定した時間が経過したときに、自動的にパーソナルデータロックやICカードロックをかける「閉じタイマーロック」を設定します。

1 MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶ロック設定▶閉じタイマーロック設定▶端末暗証番号を入力▶パーソナルデータロック・ICカードロック▶経過時間を選択

「OFF」以外に設定すると、「」が表示され、閉じタイマーロックが設定されます。各ロックがかかると、FOMA端末を開いたときにロックの解除画面が表示されます。

お知らせ

- 待受画面が表示されていない場合や、待受画面が表示されていても、他の機能が起動している場合は、設定した時間が経過してもロックはかかりません。ただし、FOMA端末を閉じたあとに他の機能が終了した場合は、設定した時間が経過するとロックがかかります。
- FOMA端末を閉じてから電話の着信やメールの受信などがあったり、FOMA端末を開いたりすると、経過時間は0秒に戻ります。
- 本機能を設定しているときに各ロックの解除操作をすると、一時的にロックは解除されますが、FOMA端末を閉じてから設定した時間が経過すると、再びロックがかかります。
- 「スタイル連動設定」を「OFF」以外に設定している場合、ヨコオープンスタイルでFOMA端末を開いたときはロック解除の画面は表示されません。
- 閉じタイマーロック設定中に「ボタンロック」を設定すると「」が消え、「」が表示されます。

PIM／ICカードセキュリティモード

パーソナルデータロックとICカードロックの解除方法を設定します。

1 MENU▶**設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶ロック設定▶PIM／ICカードセキュリティモード▶端末暗証番号を入力▶セキュリティモードを選択**

端末暗証番号.....端末暗証番号を入力してロックを解除します。設定が終了します。

フェイスリーダー...フェイスリーダーで認証してロックを解除します。

ダブルセキュリティ.....フェイスリーダーで認証したあとに端末暗証番号を入力してロックを解除します。設定が終了します。

2 **YES**

お知らせ

- フェイスリーダー設定で登録した顔データが3件未満のときやパーソナルデータロック中、ICカードロック中はPIM／ICカードセキュリティモードの変更はできません。

<フェイスリーダー設定>

フェイスリーダーを利用する

フェイスリーダーに顔データを登録し、ICカードロックやパーソナルデータロックを解除する際の認証に利用できます。フェイスリーダーを利用するには、あらかじめ顔データを3件以上登録し、「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」または「ダブルセキュリティ」に設定しておく必要があります。

■フェイスリーダー利用時のご注意

- カメラが汚れていたりすると誤作動の原因となります。柔らかい布で汚れを取り除いてからご使用ください。
- 強く光が当たり、顔の明るい部分と暗い部分の差が大きくなる環境では顔を識別しにくくなります。この場合、登録が困難になったり、認証率（本人が正しく本人と認識される確率）が低下することがあるため、顔に当たる光が一定になるようにしてください。
- 顔に光が当たり顔全体が白くなる場合などは正常に認識できない場合があります。
- 顔の状態が次のような場合には、顔の登録が困難になったり、認証率が低下することがあります。
  ・髪や眼鏡、マスクなど顔の特徴（目、口、鼻、眉など）がはっきりと見えていない状態の場合
  ・暗い場所の電灯下など、顔に当たっている光の明暗が大きい場合
- 目、鼻、口、眉がはっきりと見えるように髪をあげる（眼鏡、マスクなどを取る）、顔が均一な明るさになるような場所に移動するなど、お客様の顔の状態に合わせて対処することで認証時の状況が改善される場合があります。また、顔データを追加登録すると、認証率が改善されます。
- 顔認証技術は完全な本人認証を保証するものではありません。当社では本製品を第三者に使用されたこと、またはフェイスリーダーの誤認証により使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

登録

フェイスリーダーを利用するには顔データを3件以上登録してください。顔データは10件まで登録できます。

1 (MENU)▶**設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶ロック設定▶フェイスリーダー設定▶端末暗証番号を入力▶登録▶OK**

顔データ読取画面

正面を向き、ガイド枠内に顔が入るようにします。登録時と認証時の顔の位置の違いによる認証失敗を減らせます。

認識されると目元と口元に認識枠が表示され、ガイド枠が緑色になります。認識枠が表示されない場合や、認識枠が目元、口元からずれている場合は、顔をガイド枠から外してから、もう一度向き直して認識枠が正しく表示されるようにしてください。

- 顔データ読取画面の登録件数バーに顔データの登録件数が表示されます。

2 (●)(撮影)**を押す**

顔データを撮影します。

3 (●)(登録)**を押す**

撮影した顔データを登録します。手順2～手順3を繰り返して、顔データを3件以上登録します。

- 3件目の顔データを登録すると、顔データを追加するとフェイスリーダーが使いやすくなる旨のメッセージが表示されます。
- (CLR)を押すと顔データを取り消すかどうかの確認画面が表示されます。
- 同じ環境で登録を行うと登録できない場合があります。向きや場所を変えるなどすると登録できます。

お知らせ

- 撮影時には着信／充電ランプが点滅し、マナーモードなどの設定に関わらずシャッター音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。

顔データ読取画面の機能メニュー

明るさ調節 フェイスリーダー起動時 ±0	−3(暗い)～+3(明るい)で調節します。 **▶明るさを選択** ●顔データ読取画面で(3)を押しても明るさを調節できます。
ヘルプ表示	撮影時の注意事項を確認できます。 ●顔データ読取画面で(O)を押してもヘルプを表示できます。

登録画像リセット

フェイスリーダーに登録した顔データをすべて消去し、リセットします。

1 (MENU)▶**設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶ロック設定▶フェイスリーダー設定▶端末暗証番号を入力▶登録画像リセット▶YES**

お知らせ

- パーソナルデータロック中、ICカードロック中はリセットできません。
- 顔データをリセットすると、「PIM／ICカードセキュリティモード」が「端末暗証番号」に設定されます。

認識失敗画像

フェイスリーダーで認識動作を行った際に他人と判断された画像が保存されます。不正にアクセスしようとした人間を特定するのに利用できます。
失敗画像が作成されるたびに上書きされます。

1 MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶ロック設定▶フェイスリーダー設定▶端末暗証番号を入力▶認識失敗画像▶画像を選択

- 認識失敗画像を削除するには、iR(機能)を押して「1件削除」を選択し、「YES」を選択します。

フェイスリーダーセキュリティ

フェイスリーダーを利用する際にまばたきの動作も読み取るように設定します。

1 MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶ロック設定▶フェイスリーダー設定▶端末暗証番号を入力▶フェイスリーダーセキュリティ▶標準・高い

標準 . . . まばたきの動作を読み取りません。
高い . . . まばたきの動作を読み取ります。

フェイスリーダー暗証番号変更

「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」や「ダブルセキュリティ」に設定しているときに、フェイスリーダー認証の代わりに入力する暗証番号を設定します。

1 MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶ロック設定▶フェイスリーダー設定▶端末暗証番号を入力▶フェイスリーダー暗証番号変更▶現在設定されているフェイスリーダー暗証番号を入力

- お買い上げ時などで、初めて入力する場合は「0000」を入力します。

2 新しいフェイスリーダー暗証番号(4～8桁)を入力▶YES

フェイスリーダーでロックを解除する

「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」に設定している場合は、端末暗証番号の代わりにフェイスリーダーで認証してロックを解除します。
「ダブルセキュリティ」に設定している場合は、フェイスリーダーで認証したあとに端末暗証番号を入力してロックを解除します。

1 パーソナルデータロック・ICカードロックの解除画面▶ガイド枠に顔を合わせ、●(開始)を押す

正面を向き、ガイド枠内に顔が入るようにします。目元と口元に認識枠が表示され、ガイド枠が緑色になります。認識枠が表示されない場合や、認識枠がずれている場合は、顔をガイド枠から外してから、もう一度向き直して認識枠が正しく表示されるようにしてください。

顔データ読取画面

- 登録したときと同じ表情で認証操作を行ってください。
- ✉(暗証番号)を押してフェイスリーダー暗証番号を入力すると、フェイスリーダーの代わりに認証操作を行うことができます。
  フェイスリーダー暗証番号についてはP.134参照。

認証に失敗したときは

顔データの追加登録が可能な場合は、「OK」を選択すると追加登録を行うかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、端末暗証番号を入力すると顔データが追加登録されます。顔データの追加登録ができない場合は、「OK」を選択すると顔データ読取画面が表示されます。撮影した顔が他人と判断された場合は、シャッター音が鳴り、認識失敗画像が保存されます。「OK」を選択すると顔データ読取画面が表示されます。再度フェイスリーダーで認証を行ってください。

- 顔データが10件登録されているときに追加登録を行うと、一番古いデータに上書きされます。

「フェイスリーダーセキュリティ」が「高い」に設定されているときは

フェイスリーダー認証に成功するとまばたき検出を行います。ゆっくり目を閉じて開く動作を繰り返します。
まばたき検出に失敗した場合は、認証が失敗となります。

- フェイスリーダー認証時と同じ環境でも、まばたき検出に失敗することがあります。向きや場所などを変えて操作してください。

＜ダイヤル発信制限＞

ダイヤルボタンを押して電話をかけられないようにする

ダイヤルボタンでの発信を禁止します。FOMA端末を会社の業務用としてお使いになるときなど、私用電話を防止するために操作を制限します。

■実行できない操作

・ダイヤルボタンでの発信
・初期値設定
・電話帳（登録、修正、削除、microSDカードからのコピー、microSDカードによるバックアップ／復元、赤外線での送受信、iC通信での送受信、Bluetooth通信での送受信）
・Phone To／AV Phone To 機能
・Mail To 機能

■実行できる操作

・電話帳、ボイスダイヤルの呼出発信
・リダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧による発信（電話帳に登録されている電話番号のみ）

1 MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶ダイヤル発信制限▶端末暗証番号を入力

「D Off」が表示され、ダイヤル発信制限が設定されます。
- ダイヤル発信制限を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- ダイヤル発信制限中でも緊急通報110番／119番／118番にダイヤルボタンで電話をかけることはできます。

お知らせ

- ダイヤル発信制限を設定しているときは、宛先を電話帳から呼び出したときと、送信アドレス一覧や受信アドレス一覧から電話帳に登録されている宛先を呼び出したときのみメールを送れます。

＜ボタンロック＞

ボタンを操作できないようにする

以外のボタンが効かなくなるよう設定します。

1 を1秒以上押す

「 」が表示され、ボタンロックが設定されます。
- ボタンロックを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- ボタンロック中にFOMA端末の電源を切ることはできません。
- ボタンロック中でも、着信中は を押して応答できます。プッシュトーク着信中は を押しても応答できます。また、プッシュトーク通信中は を押して発言権を取得できます。
- 本機能の設定に関わらず、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などの外部機器は操作できます。
- ボタンロック中でもGPSの位置提供は可能です。

＜サイドボタン操作＞

サイドボタンを操作できないようにする

FOMA端末を閉じたときに 、 、 が効かなくなるよう設定します。かばんの中での誤動作が防止できます。

1 MENU▶ （1秒以上）

「SIDE Off」が表示され、「閉じた時無効」に設定されます。
- 「閉じた時有効」に設定するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- 「閉じた時無効」に設定していても、プッシュトーク着信中は を押して応答できます。また、プッシュトーク通信中は を押して発言権を取得できます。

<履歴表示設定>

リダイヤル／着信履歴を表示できないようにする

1 MENU▶設定／サービス▶着信▶履歴表示設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

着信履歴... 着信履歴と受信アドレス一覧の表示を設定します。
リダイヤル／発信履歴
..... リダイヤル・発信履歴と送信アドレス一覧の表示を設定します。

2 ON・OFF

- 「着信履歴」を「OFF」に設定した場合は、音声電話の伝言メモも再生できなくなります。

<シークレットモード><シークレット専用モード>

知られたくない電話帳やスケジュールを守る

シークレットデータとして登録した電話帳やスケジュールは、通常のモードでは呼び出し／参照できません。シークレットモードでは、登録／編集した電話帳やスケジュールをシークレットデータとして登録するか通常のデータとして登録するかを選択でき、シークレット専用モードで登録／編集した電話帳やスケジュールはシークレットデータとして登録されます。
シークレットモードではすべてのデータ、シークレット専用モードではシークレットデータだけを呼び出し／参照できます。

シークレットモードにする
シークレット専用モードにする

MENU 4 0
MENU 4 1

1 MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶シークレットモード・シークレット専用モード▶端末暗証番号を入力

「シークレットモード」を選択したときは、「S」が表示され、シークレットモードになります。
「シークレット専用モード」を選択したときは、「S」が点滅し、シークレットデータ登録件数が表示されたあと、シークレット専用モードになります。

- シークレットモードで電話帳またはスケジュールを呼び出したとき、通常データの場合は「S」が点灯したままとなり、シークレットデータの場合は「S」が点滅します。
- シークレットモード、シークレット専用モードを解除するには、同様の操作を行うか待受画面で☎を押します。

シークレットデータを通常の電話帳・スケジュールに変更するには

シークレットモードまたはシークレット専用モードで、解除する電話帳・スケジュールの機能メニューから「シークレット解除」を選択します。

お知らせ

- シークレット登録できる電話帳はFOMA端末（本体）の電話帳のみです。
- シークレット登録した相手に電話をかけたときは、発信中や通話中の画面には名前は表示されずに電話番号が表示されます。
- シークレットデータを呼び出して電話をかけたり、メールを送信したときは、「リダイヤル」「発信履歴」「送信アドレス一覧」には記憶されません。
- 「オールロック」と「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を同時に設定している場合、「オールロック」を解除すると「シークレットモード」または「シークレット専用モード」も解除されます。

＜シークレットメール表示設定＞

メールBOX内のメールにシークレットを設定する

シークレット登録した電話帳と一致する送信元／宛先のメール（シークレットメール）を表示するかどうかを設定します。

1 ✉▶メール設定▶シークレットメール表示設定▶端末暗証番号を入力▶表示する・表示しない

お知らせ

- 「表示しない」に設定していても、シークレットモード、シークレット専用モードではシークレットメールを確認できます。
- 「表示しない」に設定している場合、同報メールの宛先にシークレット登録された宛先が含まれていると、そのメールは表示されません。
- 「表示しない」に設定している場合、チャットメンバーにシークレット登録されたメンバーが含まれていると、チャットメンバー全員のチャットメールが表示されません。
- 「表示しない」に設定している場合、シークレット専用モードではエリアメールは表示されません。

＜メールセキュリティ設定＞

メールBOX内のメールを無断で表示できないようにする

メールメニューの受信・送信・保存BOXにセキュリティを設定します。セキュリティを設定したBOX内を表示するときは、端末暗証番号の入力が必要になります。

1 ✉▶メール設定▶メールセキュリティ設定▶端末暗証番号を入力▶設定したいBOXにチェック▶✉（完了）

- セキュリティを設定すると、メールメニューの設定したBOXのアイコンに「🔑」が付きます。

お知らせ

- 送信BOX、受信BOXにセキュリティを設定すると、メールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

＜電話帳指定設定＞

電話帳に指定機能を設定する

指定発信制限

指定した電話番号以外への音声電話、テレビ電話、プッシュトークをかけられないようにします。FOMA端末を業務用としてお使いになるときは、私用電話の防止に有効です。音声電話をかけるときは、指定した電話帳を呼び出して📞または●（発信）を押します。（テレビ電話をかけるときは✉（ﾃﾚﾋﾞ電話）、プッシュトーク発信するときは🔒を押します。）電話番号は20件まで指定できます。

指定着信拒否

指定した電話番号からの音声電話、テレビ電話、プッシュトークがつながらないようにします。「電話を受けたくない相手」からの電話だけがつながらないように設定できます。発信者側には話中音が流れます。電話番号は20件まで指定できます。

相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」と「非通知着信設定」も合わせて設定することをおすすめします。

指定着信許可

指定した電話番号からの音声電話、テレビ電話、プッシュトークだけがつながるようにします。「電話を受けたい相手」からの電話だけがつながるように設定できます。電話番号は20件まで指定できます。

相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」も合わせて設定することをおすすめします。

指定発信制限・指定着信拒否・指定着信許可

1 電話帳詳細画面▶(iモード)(機能)▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

指定発信制限.....指定した番号にだけ発信できます。
指定着信拒否.....指定した番号からの電話は受けません。
指定着信許可.....指定した番号からの電話だけを受けます。
指定転送でんわ....P.445参照
指定留守番電話....P.442参照
設定された項目に「★」マークが付きます。

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、詳細画面で(○)を押して電話帳指定設定を設定する電話番号を選びます。
- 複数の電話番号に指定発信制限を設定したいときは、指定発信制限を設定したあとに(CLR)を押して電話帳の詳細画面に戻り、(○)で設定したい電話番号を選んで操作を行ってください。
  (⌐)を押して待受画面に戻ると追加設定ができなくなります。追加設定をするときは、すでに設定されている電話番号の指定発信制限を解除し、解除した電話番号も含め、指定発信制限を設定し直してください。
- 電話帳指定設定を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- シークレット登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には設定できません。
- 「指定着信拒否」、「指定着信許可」を設定中に「パーソナルデータロック」を設定すると、すべての着信を許可します。
- 「指定発信制限」を設定すると、以下の操作はできません。
  ・指定した電話番号以外の呼び出し、参照
  ・ダイヤル発信(指定した電話番号への発信を除く)
  ・着信履歴からの発信(指定した電話番号からの着信を除く)
  ・電話帳の登録、修正、削除、microSDカードからのコピー、microSDカードによるバックアップ／復元、FOMAカードへのコピー
- 「指定発信制限」を設定していても、緊急通報110番／119番／118番に電話をかけることはできます。

お知らせ

- 「指定着信拒否」に設定した電話番号から電話がかかってきたときや、「指定着信許可」に設定した電話番号以外から電話がかかってきたときは、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。
- SMSやｉモードメールは、「指定着信拒否」、「指定着信許可」に関係なく受信されます。

電話帳指定設定を確認／解除する

1 (MENU)▶電話帳▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

- 設定されている項目には「★」マークが付きます。
- それぞれの電話帳指定設定に設定されている電話帳をすべて解除するには、(iモード)(機能)を押して「設定解除」を選択し、「YES」を選択します。

2 電話帳を選択

電話帳指定設定が設定されている電話番号が表示されます。

- 電話番号ごとに電話帳指定設定を解除するには、同様の操作で解除したい電話番号を選択し、「YES」を選択します。

<非通知着信設定> MENU 1 0

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

発信者番号非通知理由によって音声電話、テレビ電話、プッシュトークを受ける(許可)か受けない(拒否)かを設定できます。発信者番号非通知理由には「通知不可能」、「公衆電話」、「非通知設定」の3つがあります。

1 MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶非通知着信設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

通知不可能 . . .海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合
(ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知される場合もあります。)
公衆電話 . . . .公衆電話などから発信した場合
非通知設定 . . .発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合

2 許可・拒否

●「許可」を選択した場合は、P.106手順2へ進み着信音を選択します。「通常着信音と同じ」に設定すると、「着信音選択」の「電話」で設定した着信音になります。

お知らせ

●「拒否」に設定した場合は、電話がかかってきても着信音は鳴らず、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても相手には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。
●SMSやｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。

<呼出時間表示設定> MENU 9 0

呼出動作をすぐに開始しないようにする

1 MENU▶設定／サービス▶着信▶呼出時間表示設定▶以下の操作を行う

呼出動作開始時間	電話帳に電話番号が登録されていない相手から音声電話、テレビ電話、プッシュトークがかかってきたときに呼出動作をすぐに開始しないように設定します。ワン切りなどの迷惑電話対策に利用できます。 ▶**ON・OFF▶開始時間(秒)を入力** ●「01」～「99」の2桁を入力します。
時間内不在着信表示	「呼出動作開始時間」で設定した時間内に切れた着信を着信履歴に表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**

お知らせ

●電話帳に電話番号が登録されている相手から着信があった場合は、「186／184」を付加して登録されていても、着信と同時に呼出動作を開始します。ただし、パーソナルデータロック中やシークレットで登録されている相手からの着信については、本機能の設定に従って動作します。
●呼出動作開始時間が伝言メモ設定の呼出時間より長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモ設定の呼出時間を呼出動作開始時間よりも長く設定してください。留守番電話サービス、転送でんわサービス、オート着信設定の呼出時間でも同様です。

＜登録外着信拒否＞

電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する

電話帳に電話番号が登録されていない相手からの音声電話、テレビ電話、プッシュトークを拒否できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」と「非通知着信設定」も合わせて設定することをおすすめします。

1 (MENU)▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶登録外着信拒否▶端末暗証番号を入力▶許可・拒否

お知らせ

- シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、この設定に関わらず、着信は拒否されません。
- 「電話帳指定設定」の「指定着信許可」と同時に設定している場合は、「指定着信許可」が優先されます。
- 本機能を「拒否」に設定しているときに、電話帳に登録されていない電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。
- 本機能を「拒否」に設定していても、「非通知着信設定」の各設定を「許可」に設定しているときは、「非通知着信設定」に従います。
- SMSやiモードメールは、本機能に関係なく受信されます。
- パーソナルデータロック中は「登録外着信拒否」を設定できません。
- 「呼出時間表示設定」の「呼出動作開始時間」を「ON」に設定中は、「登録外着信拒否」を「拒否」に設定できません。

＜電話帳お預かりサービス＞

電話帳お預かりサービスを利用する

FOMA端末に保存されている電話帳・画像・メール・トルカ※・スケジュール※（以下「保存データ」といいます）を、ドコモのお預かりセンターに預けることができ、万が一の紛失時や機種変更時などに保存データを復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更したことを一斉通知できます。一斉通知メール送信時パケット通信料はかかりません。パソコン（My docomo）があれば、さらに便利にご利用いただけます。

※トルカとスケジュールを預けるにはiコンシェルのご契約が必要です（2008年10月現在）。

- 電話帳お預かりサービスの詳細については「ご利用ガイドブック（iモード＜FOMA＞編）」をご覧ください。
- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料のサービスです（お申し込みにはiモード契約が必要です）。

お預かりセンターに保存する

1 保存したいデータの画面▶(メール)(機能)▶移動／コピー▶お預かりセンターに接続・お預かりセンターに保存▶端末暗証番号を入力▶YES

- 機能によっては「移動／コピー」を選択する操作は不要です。
- 受信メール一覧画面、送信メール一覧画面、保存メール一覧画面、静止画一覧画面から操作した場合は、保存したいデータにチェックを付けて(メール)(完了)を押します。10件まで選択できます。

お知らせ

- FOMAカードやmicroSDカード内のデータは保存できません。
- メールに添付されたデータは保存されません。
- 以下の静止画は保存できません。
  - ・1件あたりのサイズが100Kバイトを超える画像
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されている画像
  - ・JPEG形式、GIF形式以外の画像

FOMA端末に復元する

FOMA端末の電話帳を削除した場合、電話帳お預かりセンターに保存を行うとお預かりセンターの電話帳も削除されますのでご注意ください。お預かりセンターの電話帳をFOMA端末に復元する場合、以下の操作を行ってください。

1 i Menu▶マイメニュー▶電話帳お預かり▶お預かりセンター▶iモードパスワードを入力

- iコンシェルをご契約の場合は、「i Menu▶マイメニュー▶お預かり／iコンシェル▶お預かりデータ確認▶iモードパスワードを入力」の操作を行います。

2 お預かりセンターの電話帳から「ケータイへダウンロード」を選択▶OK

- 約15秒後にダウンロードが開始されます。待受画面を表示させてお待ちください。

お知らせ

- お預かりセンターに登録されている電話帳が、FOMA端末の電話帳に登録できる件数を超えた場合、超えている部分の電話帳データは更新されません。
- 電話帳の電話番号2以降のデータ、メールアドレス2以降のデータ、位置情報、およびプッシュトーク電話帳の電話番号、グループ名(番号)を削除された場合、削除内容がお預かりセンターへ反映されません。なお、電話帳の電話番号2以降およびメールアドレス2以降のデータについては、パソコン(My docomo)のお預かりセンターから該当データを削除いただくことで反映されます。
- 電話帳1件丸ごとの削除はお預かりセンターへ反映されます。

電話帳を自動更新する

お預かりセンターのサイトで、FOMA端末の電話帳を定期的にお預かりセンターへ更新、保存するように設定できます。

お知らせ

- 自動更新時に他の機能を起動していた場合、自動更新はされません。

お知らせ

- 更新ができなかった場合、デスクトップに「更新」(お預かりサービス更新通知)の「お知らせアイコン」が表示されます。「更新」を選択すると更新画面が表示されます。

電話帳お預かりサービスの設定を行う

1 MENU▶LifeKit▶電話帳お預かりサービス▶以下の操作を行う

お預かりセンターに接続	P.140参照
通信履歴表示	お預かりセンターとの通信記録を表示します。 ▶履歴を選択 ●一覧画面で通信完了時刻を選択すると詳細画面に変わります。
電話帳内画像送信設定	電話帳に設定している画像をお預かりセンターに保存するかどうかを設定します。 ▶する・しない

お知らせ

＜通信履歴表示＞

- 最大30件まで保存されます。30件を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。

＜電話帳内画像送信設定＞

- FOMA端末外への出力が禁止されている画像は保存できません。

iコンシェルでお預かりサービスを利用する

自動お預かり／更新設定

お預かりサービスについての設定を行います。

1 MENU▶iコンシェル▶(MENU)▶設定▶自動お預かり／更新設定▶画面に従って操作する

お預かりデータ確認

お預かりセンターに保存されているデータの確認などを行います。

1 MENU▶iコンシェル▶✉(MENU)▶設定▶お預かりデータ確認▶画面に従って操作する

お預かりデータ更新

お預かりセンターとFOMA端末のデータを最新の状態にします。

1 MENU▶iコンシェル▶✉(MENU)▶設定▶お預かりデータ更新▶更新したいデータにチェック▶✉(完了)

お預かり通信履歴

お預かりセンターとの通信記録を表示します。

1 MENU▶iコンシェル▶✉(MENU)▶設定▶お預かり通信履歴▶履歴を選択

- 一覧画面で通信完了時刻を選択すると詳細画面に変わります。

<設定リセット> MENU 2 3

各種機能の設定をリセットする

「機能一覧表」の　の項目をお買い上げ時の状態に戻します。(P.476参照)

1 MENU▶設定／サービス▶その他▶設定リセット▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

- Bluetooth機器との接続中または接続待機中はリセットできません。

お知らせ

- 「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」または「ダブルセキュリティ」に設定している場合、ICカードロック中はリセットできません。
- 設定リセットを行った場合、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、○を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

<端末初期化>

登録データを一括して削除する

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。
お買い上げ時の状態については「機能一覧表」を参照してください。(P.476参照)

- お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
- 「iD 設定アプリ」以外のおサイフケータイ対応iアプリは削除されます。ただし、使用状況によっては削除されないことがあります。
- お買い上げ時に登録されているiアプリに保存されたデータは削除されます。ただし、削除されなかったおサイフケータイ対応iアプリに保存されたデータは削除されません。
- 保護しているデータも削除されます。
- 2in1のモードに関わらず、すべての登録データが削除されます。
- お買い上げ時に登録されているデータを削除していても、端末初期化を行うと元に戻ります。ただし、お買い上げ時に登録されているiアプリを削除した場合は元に戻りません。
- 端末初期化を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
- 端末初期化を行っているときは、電源を切らないでください。
- 端末初期化を行っているときは、他の機能を使用できません。また、電話の着信やメールの受信などもできません。

1 MENU▶設定／サービス▶その他▶端末初期化▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

初期化が完了すると、自動的に電源が切れたあと、再度電源が入り、「初期値設定」の画面が表示されます。

お知らせ

- Bluetooth機器との接続中または接続待機中は初期化できません。
- 「PIM／ICカードセキュリティモード」を「フェイスリーダー」または「ダブルセキュリティ」に設定している場合、ICカードロック中は初期化できません。
- FOMAカードやmicroSDカードに保存・登録・設定されているデータは削除されません。
- パソコンから設定したデータ通信の設定は削除されません。
- iアプリを元に戻したいときは、「P-SQUARE」のサイトからダウンロードしてください。ダウンロードには別途通信料がかかります。
- 端末初期化を行った場合、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、[i]を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
- 端末初期化を行った場合、Music&Videoチャネルの番組は自動取得されなくなりますので、Music&Videoチャネルメニューから設定確認画面へアクセスし、番組設定を反映させてください。
- 削除するデータが多いときなどは端末初期化に時間がかかる場合があります。

＜遠隔初期化＞

遠隔操作でデータを初期化する

本機能の利用契約をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各種データ（本体／microSDカード／FOMAカード（UIM）内のメモリ）を初期化することができるサービスです。

■お問い合わせ先
docomo Business Online　パソコンから　http://www.docomo.biz
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

遠隔初期化が起動すると

操作ができなくなる旨の画面が表示され、初期化が開始されます。

- 遠隔初期化が起動すると、音声電話／テレビ電話の着信に対する応答・応答保留を除いてすべてのボタン操作がロックされ、各機能を使用することができなくなります。初期化が開始されると、すべての機能を使用することができなくなります。
- 着信中、通話中に遠隔初期化が起動した場合、[通話]と[終話]を除いてすべてのボタン操作がロックされます。初期化が開始されると、自動で着信や通話を終了します。

お知らせ

- 「時計設定」は初期化されません。
- パソコンとFOMA端末を接続しているときはmicroSDカードを初期化できない場合があります。

その他の「あんしん設定」

本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがございますのでご活用ください。

機能／サービス名称	目的	参照先
ICカードロック	ICカード機能の不正使用を防止したい	318
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	445
番号通知お願いサービス	発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	446
FirstPass	電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※ FirstPass対応サイトに限ります	210
ソフトウェア更新	必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	521
スキャン機能	障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	527
メール選択受信	大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい	160

つづく

機能／サービス名称	目的	参照先
「ｉモード災害用伝言板」サービス	「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。	
メールアドレス変更		
迷惑メール対策 （URL付きメール拒否設定） （受信／拒否設定） （かんたんメール設定） （ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限） （SMS拒否設定） （未承諾広告※メール拒否） （メール設定確認）		
メール機能停止／再開		
メールサイズ制限		
ケータイお探しサービス		
イマドコかんたんサーチ		

お知らせ

- 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は、「迷惑電話ストップサービス」→「指定着信拒否」→「登録外着信拒否／非通知着信設定」→「呼出時間表示設定」の順になります。